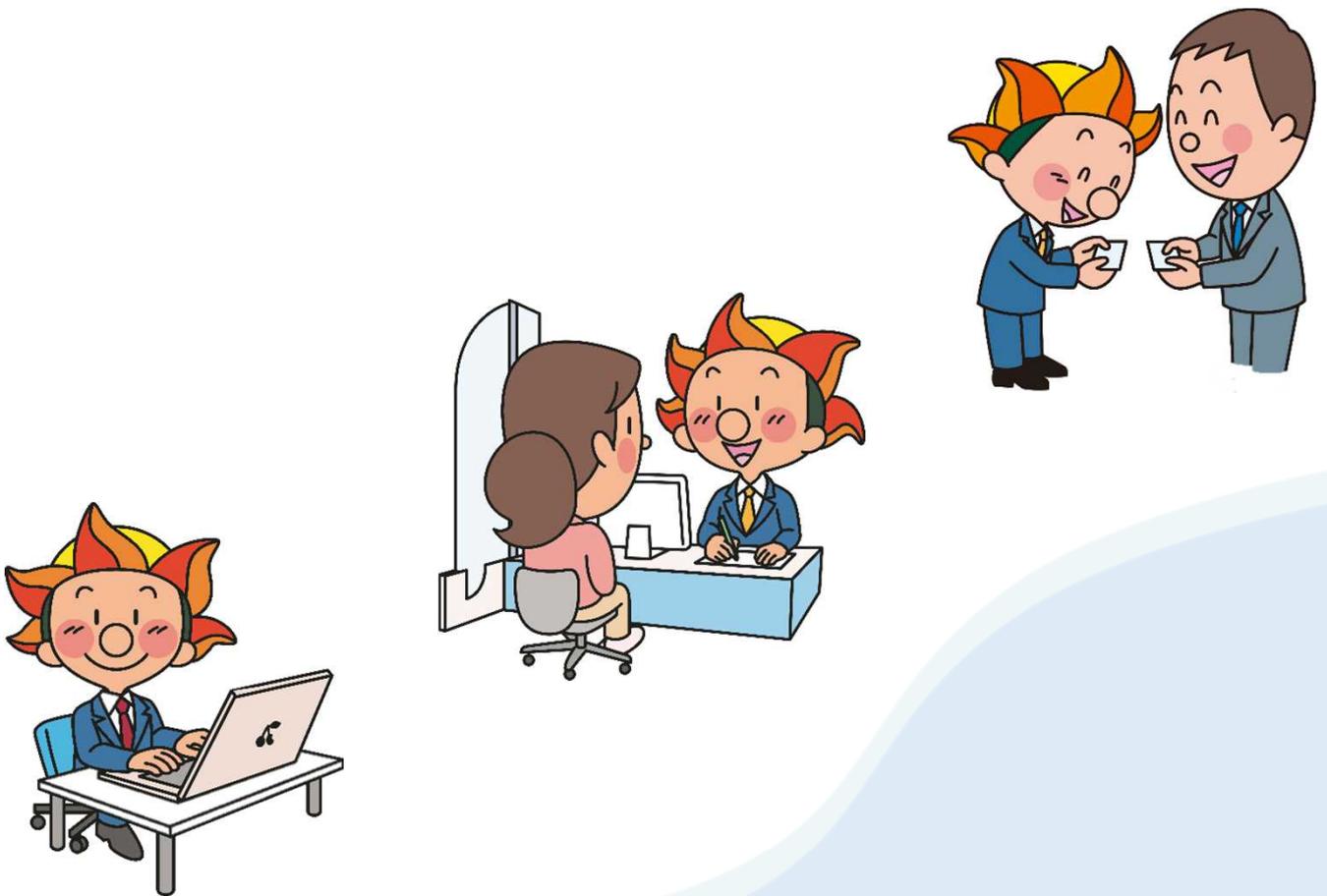


先輩職員からのメッセージ

～現場で働く職員の声～



ひと ぐらし みらいのために

はじめまして、山形労働局のイメージ
キャラクターの「ヤッピー」です。



公務員を志望する方から

「労働局の仕事はイメージしにくい」

といった声を時々耳にします。

労働局の仕事を皆さんに

「知ってもらいたい！伝えたい！」

と思い、山形労働局の第一線で活躍する職員11人に、ヤッピーがインタビューをしました。

インタビューした内容をご覧いただいた後に、労働局の仕事についての理解が進み、皆さんの疑問や不安が解消され、業務にやりがいや魅力を感じていただければ嬉しいです。



氏名：落合 達空
 所属：庄内労働基準監督署
 労災課労災係
 採用：令和5年度



Q. 山形労働局を志望した理由を教えてください

A. 就職活動で、漠然と公務員になりたいという思いがあり、様々な官庁の説明会に参加しました。労働局の説明会に参加した際に、これからの生活に密接に関わってくる「労働」という分野で、実際に働く労働者の支援等を専門的にできるという点に魅力を感じ、志望しました。

Q. 仕事で苦勞したこと、辛かったことはありますか

A. 今年度に人事異動があり、初めて監督署に勤務しています。労働保険や労働災害の専門的で幅広い知識を覚えつつも、実務をこなしています。正しい知識を入れながらそれを相手に分かりやすく伝えることが苦勞していることですが、部署内の情報共有や研修も充実しているので、徐々に知識を蓄えながら業務に活かせるように頑張っています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 様々な業務がありますが、分からないことや迷う場合は一緒に考えてくださる優しい方ばかりですので、大変働きやすい環境とやりがいがある仕事だと思いますので、少しでも興味を持っていただければ幸いです。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 労働災害に遭われた方々への支援（労災保険給付）・会社が加入する労働保険に関する業務を行っています。仕事中的ケガが労働災害に該当するかどうかの調査をしており、労災保険の専門的な知識を身に身に着けることができることや、実際に働く人の支援を行うことに魅力を感じています。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 月1日以上の有給休暇取得を促進しているので、自分の業務の進捗状況をみながら有給休暇を取得でき、プライベートとの両立はしやすい環境だと思います。また、夏季休暇に有給休暇をつなげ、大型連休にすることも推奨されているため、旅行など趣味の時間も確保しやすいです。



氏名：高橋 里歩
 所属：労働基準部賃金室
 賃金係
 採用：令和2年度



Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 黙々と一人で事務作業を行うイメージがありましたが、実際に働いてみて周りの方とコミュニケーションをとって相談しながら業務を進めていくことが多いと思いました。

また、悩んだり迷ったりしたことがあったら、先輩や上司の方々が優しく親身になって相談にのってくれるので、とても働きやすい環境で仕事ができていると感じています。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 週2回の休日があり、有給休暇についても取得しやすいのでプライベートとの両立はできていると感じています。夏季休暇の制度もあるため、休日や有給休暇と併せて取得し、長期の休みを取ることも可能です。休みを利用して旅行に行ったり、自分の趣味の時間にあてたりすることができるので、リフレッシュしながら仕事ができていると思います。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 賃金室では、最低賃金決定のための審議会の運営や各種賃金に関する統計調査等を行っています。今、最低賃金は注目が集まっているトピックスでもあり、働くすべての人に関わる重要な制度です。その他にも労働局では働く人をいろいろな観点から支援する重要な法律や制度を扱っており、人々の生活に直接関わる労働行政で働いていることにやりがいを感じながら仕事をしています。ぜひ、労働行政に興味を持っていただくと幸いです。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 業務を進めていく中で、間違いやミスが起きないように少しでも疑問に思ったことは関係資料等を確認したり、周りの方々と相談してから業務を進めるように心がけています。また、急いだり焦ったりすると、ミスが起きやすくなってしまうので、優先順位を考えながら丁寧に仕事をするのを大切にしています。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありましたか

A. 専門的な知識、関係する法令等が多いことです。自分で調べたりすることはもちろん、上司・先輩に聞いたり、研修等もあるので、知識を吸収しながら、理解するようにしています。また、どの部署に異動しても新しい知識が必要になるので、覚えるまで苦労することはありますが、すべての業務が全く関連のないものではないので、自分のスキルアップにも繋がります。



氏名：仲野 智尚

所属：労働基準部労災補償課
調整主任

採用：令和5年度



Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 山形労働局に入省し、はじめに感じたことは、上司や先輩、同僚が接しやすい方ばかりで、仕事を進めるうえで報告や相談がしやすいということです。困難な事案に直面したときは、周囲からのフォローが手厚いと思います。また、自分の意見を積極的に発言でき、仕事に反映されやすい職場であるとも感じています。

Q. 山形労働局の職員として助かっている制度はありますか

A. 令和6年に子供が生まれた際、妻の出産に伴う休暇や育児参加に伴う休暇など様々な休暇制度を活用し、妻の入退院をフォローするとともに、微力ながら育児に参加できており、非常に働きやすい環境だと感じます。他にも、年次休暇の年間取得目標や育児休暇の取得制度などがあり、充実した公私の生活を送ることができています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 公務員採用試験は、幅広い基礎知識が必要なうえ、競争性があるため、試験対策は大変ご苦労されていることと思います。世の中にある様々な職業の中で、労働行政に関わる仕事を選択された皆さんと切磋琢磨し合いながら職務ができることを楽しみにお待ちしております。やる気にあふれた積極的な姿勢を期待しています。

Q. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

A. 会社の労務管理担当者や労災保険の請求人など、様々な方と接し、お話を伺う機会が多くあります。保険内容や制度、法令等について、一般の方に対し、わかりやすく誤りのないよう丁寧に説明する必要があります。また、相手が何を求めて相談をしているのかを早期に把握し、的確に回答するといったことなどが必要になります。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. これまで経験した職業と比較すると、家族と向き合う時間や趣味に使う時間が多くなりました。計画的に仕事を進めることはもとより、上司や同僚などのサポートのおかげで、残業時間はほとんどなく、休日は確実に休むといった生活を送れます。仕事とプライベートとのメリハリをつけた良い習慣が身に付き、双方向で良い結果が出るようになりました。



氏名：津島 裕奈
 所属：山形労働基準監督署
 労災課長
 採用：平成12年度



Q. 山形労働局を志望した理由を教えてください

A. ゼミで労働法を専攻していたからです。就活は、公務員を第一希望としながらも、民間企業も併願しましたが、民間企業の説明会で「公務員を諦めきれずに辞めていく社員が多いので、公務員を目指してる方はうちを希望しないでください。」という言葉に、不安を見透かされ道を示された気がして公務員一本に絞ったことを印象深く覚えています。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 職員が仕事と家庭を両立できるよう、様々な支援制度が用意されています。産育休を取得しやすい職場環境や子育て、介護等を行う職員が柔軟な働き方ができるような制度も整っています。私自身、職場の理解もあり、上の子と下の子で合計3か月間の育休を取得し、子供が日々成長していく姿を実感できる非常に貴重な経験をすることができました。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. この山形労働局職員からのメッセージをご覧になって、一人でも多くの方が国家公務員を目指し、山形労働局を希望していただけたら幸いです。山形労働局で皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 労災による負傷や病気が完治することが一番ですが、障害が残ったり、不幸にも亡くなるケースもあります。障害が残った労働者の社会復帰へのフォローや大切な家族を失ってしまったご遺族の生活を支えることも労災保険の大切な仕組の一つです。労働者やその家族を守るセーフティーネットとしての重要な役割を担っていることにやりがいを感じています。

Q. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

A. 労働局に限ったことではありませんが、特別なスキルや資質は必要ないと思います。個人的には、「謙虚であること」が大切だと思っています。それは、学ぼうとする姿勢であったり、同僚やお客様に対する姿勢であったりです。自分自身と向き合い、周りの方の良い部分を吸収して、より良いパフォーマンスができるよう努力し続けることが大切だと思います。



氏名：笹原 江奈実
 所属：米沢公共職業安定所
 雇用保険課適用係
 採用：令和5年度



Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 山形労働局はとても雰囲気の良い職場だと感じます。最初は「国家公務員」「労働局」という言葉から、堅いイメージやなんとなく怖そうという印象を持っていましたが、気さくに話しかけてくださる方ばかりで、明るい雰囲気の良い職場です。また、定時退庁の徹底や有給休暇が取りやすいところも良いところだと思います。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. わからないことはよく調べることです。時間がないときは上司や先輩に聞くこともありますが、なるべく自分でよく調べて資料を読み返し、納得できるまで考えるようにしています。そうすることで、自分の知識として身につけ、次から自信をもって対応できるようになります。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 私は、アルバイト等の経験はなく、そもそも自分が社会人として働けるのかとても不安でしたが、労働局はみなさん温かくて、今では安心して働くことができる職場だと感じています。このメッセージで、労働局がみなさんの就職先の候補のひとつになったら嬉しいです！

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. 制度について覚えることです。窓口での相談内容は様々なので、身につけなければならない知識もたくさんあります。最初は、研修や先輩職員の対応に同席して学び、入省して1か月後くらいから窓口対応をするようになりました。いきなり窓口に立たされることなく、上司や先輩職員と一緒に対応することで少しずつ学んで徐々に慣れることができました。

Q. 労働局で働く前後でギャップを感じたことはありますか

A. ハローワークに来られるのは求職者だけではないということです。入省前はハローワークは仕事を探す場所というイメージしかなかったのですが、実際には求人を出したり助成金の手続きをしたりなど事業所の方も来られます。私が所属している適用係では、雇用保険の加入・育休中の方への給付など、ほとんどが事業所の方とのやりとりになります。



氏名：後藤 里緒菜
 所属：酒田公共職業安定所
 雇用保険課適用係
 採用：令和5年度



Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力は どんなところですか

A. 幅広い業務に携わることができることです。2年間職業紹介業務に従事し、今年度から雇用保険の適用関係業務に配属となりました。新鮮な気持ちで働ける反面、新たな知識の習得や新しい環境に適應することも大変ではありますが、周りの方々の支えやご来所いただいた方から感謝されることも多く日々充実感とやりがいを感じて働いています。

Q. 労働局で働く前後でギャップを感じたことはありますか

A. 働く前は「職場は堅苦しくて緊張感のある場所」だと思っていましたが、実際は和やかで接しやすい雰囲気の方が多く、いい意味でギャップを感じました。日々、臨機応変な対応が求められますが、様々な経験を積むことでできることも増え、自身の成長を感じることが出来ます。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 山形労働局の業務は多岐に渡りますが、日々やりがいを実感し働くことが出来ます。労働行政に少しでも興味があれば是非とも志望していただければと思います。採用まで長い道のりになりますが、お体に気を付けて頑張ってください。心から応援しております。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 仕事を進める上で「常に主体的に取り組むこと」を大切にしています。新しいことには不安が付き物ですが、失敗を恐れすぎると前に進めなくなってしまうので「まずはやってみる」を心がけております。参考資料や文書を読む、調べるなど一歩踏み出すことで課題が明確になり、今後の成長にも繋がると思います。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 年次有給休暇の積極的な取得や、週2回の定時退庁を徹底しており、プライベートの予定もたてやすく、休暇を利用して自分の時間を作ることで、オンオフしっかり切り替えられます。定期的にリフレッシュできるところが心身の健康や仕事へのモチベーションにも繋がっていると思います。



氏名：吉田 舞人

所属：山形公共職業安定所

(ハローワークプラザやまがた)

職業相談部職業指導官

採用：平成27年度

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 私は職業相談業務を担当しており、求人情報を提供したり、応募書類の添削や面接対策を行ったりする中で、何度も相談を重ねた方が採用されたとき、やりがいを感じます。また、山形労働局の業務は窓口で利用者と直接相談する機会が多いため、間接的な支援ではなく、目の前の人に直接寄り添いながらサポートでき、それを実感できることも魅力の一つです。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 仕事とプライベートの両立がしやすい職場環境だと感じています。昨年、子どもが生まれた際に、担当している仕事も家庭もどちらも大切にしたいため、育休を3回に分けて取得しました。育休を取ったことで、子どもへの愛情がより一層深まり、夫婦の絆も強くなったのではないかと思います。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. どこの行政機関で働きたいか、まだ悩んでいる方もいらっしゃると思います。山形労働局は、県内の労働市場や雇用情勢の情報をどこよりも早く収集し、分析を行っており、国家公務員でありながら山形県に根付いた行政機関として地域の雇用を支えています。「山形のために働きたい」と考えている方には、山形労働局がおすすめです。一緒に働けることを楽しみにして待っています。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. イベントを企画した際、事業所や求職者にどのようにアプローチすればよいのか、また運営方法をどうすべきか悩み、一人で抱え込んでしまい、つらく感じることもありました。しかし、上司や同僚に相談し、話を聞いてもらったことで助言を得られ、企画案を整理しながら形にしていくことができ、抱え込んでいた不安がずっと軽くなり、「よし、頑張ろう!」と前向きな気持ちになりました。

Q. 労働局職員に必要なスキル・資質を教えてください

A. 人と話すことが好きな方、相手の話にじっくり耳を傾けることが得意な方は、労働局職員に向いているのではないかと思います。公務員というと、机上での事務作業が中心と思われるがちですが、労働局は公務員の中でも窓口業務の機会が多い職種です。私自身、人と話すことが好きだったので、現在の働き方はとても自分に合っていると感じています。



氏名：松田 慎太郎

所属：総務部労働保険徴収室

適用第一係長

採用：平成29年度



Q. 山形労働局を志望した理由を教えてください

A. 私が就職活動をしている時は、リーマンショックと就職氷河期の時代であったため、就職するのに大変苦労しました。その時の経験から、就職や転職といった、人生でも大きな転機に向けて歩みだしている方に対して、少しでも支援したいといった思いから、労働に関する専門行政である、労働局で働きたいと考えるようになりました。

Q. 他の仕事との違いを教えてください

A. 私は民間企業で8年間働いておりました。また、公務員としても9年目となります。仕事のやりがいや進め方は、民間も公務も基本的には変わらないと思います。その中で、労働局に入庁して感じたことは、有給休暇が取りやすいこと、人間関係が良好なこと、離職者が少ないことです。

Q5. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 公務員の試験範囲は膨大で、大変苦労されているのではないのでしょうか。しかし、試験が終わってから後悔しないよう、1日1日の過ごし方や、諦めず試験対策をすることが重要だと私は思います。そして、面接（官庁訪問）は、とんでもなく緊張しますが、緊張を味方につけて、自分の力を発揮できよう頑張ってください。皆様と働けるのが楽しみです。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. 事業主や求職者の前で、施策について説明する機会がございました。多くの人前で話すことから、緊張のあまり頭が真っ白になり、意図したことを伝えることができませんでした。その後は、話し方やプレゼンの本を購入し、事前に入念な準備を行うように心がけました。今でも緊張はしますが、人前では自信を持って話すことができるようになったと思います。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 自分なりに優先順位を明確にして仕事を進めたり、専門的な知識が多いので、担当する業務を習熟するように努めています。また、上司や同僚などと積極的にコミュニケーションを取るようにしています。周りとの協力して進める業務も多くあるので、普段から心がけることでいつでも相談しやすい環境を作れていると思います。



氏名：伊藤 秀人

所属：村山公共職業安定所

職業相談部門統括職業指導官

採用：平成18年度

Q. 山形労働局を志望した理由を教えてください

A. 生まれ育った山形県に誇りと愛着があり、地元のために働きたいと思っていました。公務員の中で労働局を志望したのは、一言で言うと官庁訪問時の雰囲気が一番良かったからです。親切で明るい先輩が多かったことを覚えています。また、私自身が就職氷河期世代で就職活動の辛さを経験しており、この経験が労働局で役に立つのではないかとも思いました。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. 仕事の相談に訪れる方と信頼関係を構築することです。ハローワークには様々な事情を抱えた人が訪れます。就職は人の一生に関わる事ですので、担当として責任を持って適切な対応ができなければなりません。一人ひとり個性があるので、糸口をつかめず苦労することもあります。来所者から安心して相談いただけるように、丁寧な対応を心がけています。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 「労働」は人の一生に深く関わり、企業の存続にも大きな影響を与える大事なことです。そのために覚えなれないスキル・知識はたくさんありますが、感謝された時の達成感や充実感というのは、とてもかけがえのないものがあります。「伊藤さんのおかげです！」そんな言葉を戴いた時、苦労が吹き飛ばす程の喜びとやりがいを実感します。

Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 官庁訪問の雰囲気と変わらず親切で優しい職員が多く、「話しやすい」「聞いてくれる」といった安心感を持って働くことができる職場だと思います。ハローワークは対人業務が基本ですので、相手の気持ちをしっかり理解できる職員が多い印象です。私も先輩方から学んで、今は部下の成長をサポートできるように良好なコミュニケーションを常に大切にしています。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. チームワークです。現在、地域の雇用拡大を目指し、自治体・関係団体と一丸となって取り組んでいます。そのプロジェクトリーダーを務めており、定期的に会議を開催しています。立場が異なる組織と連携を強化することで、情報共有がスムーズになり、同じ方向を向いて意見を交わすことで相乗効果が生まれ、新たなアイデアの創出に繋がっています。



氏名：石塚 雅美

所属：鶴岡公共職業安定所

専門援助部門統括職業指導官

採用：平成11年度



Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力は どんなところですか

A. 現在、障害者雇用の担当となり3年目です。就職を希望する障害者の方が、ご本人の障害特性に合った希望の仕事に就職内定を得た時、最高の喜び、達成感を感じます。それまでの努力が報われる瞬間です。また、障害のある方々がハローワークで紹介した事業所で勤務を継続している、活躍しているというお話を伺った時もやりがいを実感しています。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. 人事異動により、定期的に担当する業務内容が変わります。その都度、新しい業務を覚えるまで苦労する場面もありますが、幅広い知識を得られることは魅力であると考えます。まさか自分が障害者支援を担当することになるとは思っていませんでしたが、今、大変充実した日々を送っています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. どんな職場でも求められるものはコミュニケーション能力だと思います。内部の職員に対してはもちろん、労働局では窓口対応などで外部の方と話すことも多く、積極的にコミュニケーションを取る姿勢が大切です。スキルは経験を重ねることで自然と身につけていくもの、覚えていくものと思います。

Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 良かったことは尊敬できる先輩、心から信頼し、思いを共有できる同僚、後輩と出会えたことです。迷ったり不安に思ったりなど、困難に直面したとき、周りにいつでも相談できる雰囲気や環境があることで、日々の業務を進めるうえでも支えになっています。かけがえのない仲間です。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. これまで2人の子育てのため育児休暇を取得させていただきました。それぞれ1年と少しの期間お休みし、子育てに専念することができました。また、復帰後は遅出出勤の制度も活用し、子供を保育園に送ってから出勤することができました。職場の方々のご理解、ご協力があったおかげで今まで勤務を続けることができており、心から感謝しています。



氏名：大泉 昌悦
 所属：山形公共職業安定所
 所長
 採用：昭和59年度



Q. 山形労働局を志望した理由を教えてください

A. 安定した仕事、ということが第一ではありませんでしたが、ひとつ上の姉が就職に当たってハローワーク（当時の略称は職安でしたが）を利用したことも関心を持つきっかけになりました。仕事をあっせんする公務の職場があって、学生にも対応してくれるということに妙に感心して、自分もやってみたいと考えようになりました。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 先入観を持たないこと、様々な面から検討してみることを心がけています。利用者の方はもちろんですが、一緒に働く職員も一人ひとり違った思いや、考え方を持っています。それぞれの思いや考え方を理解しながら、同じ方向を向いて業務を進められるようにしていきたいと思っています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 労働局は、働く方や働きたい方、働く方を雇用している経営者の方などを対象に業務を行っている機関です。「働く」ことを中心にした様々な業務経験を通じて自分自身も成長できると思います。ぜひ一緒に働きましょう。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. 「労働行政」という中での仕事とはいえ、様々な業務があり、時には、思いがけない担当に異動することもあります。土地勘のない仕事の場合、用語から理解する必要があって大変でしたが、その後、事業所の方との話題の幅が増えて、意思疎通が円滑になる等、業務に役立つ面もありましたので、苦労は無駄にならなかったと思っています。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 「労働行政」という労働者に寄りそった行政であることが魅力と感じています。特にハローワークは、再就職支援はもちろんのこと、能力開発や在職しながらの休業といったことを支援していく制度も所管しており、問い合わせへの対応や利用手続きの説明をする中で、感謝の言葉をかけられることもまれではありません。

人事担当者から皆さんへ

年次休暇（有給休暇）取得状況について

労働局では年次休暇の目標年間取得日数を16日以上としていますが、令和6年に年次休暇を年間16日以上取得している職員は全体の84.3%です。

月1日以上の子次休暇取得を目指しているため、職員同士がお互いサポートし、年次休暇を取得しやすい環境となっています。

育児休業取得状況について

令和6年の育児休業取得率は100%です。女性職員、男性職員ともに育児休業を取得しています。そして、育児休業後の職場復帰率は100%です。

また、9歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子が体調を崩し、看病等が必要となった場合、年次休暇とは別に1年で最大5日分、特別休暇を取得することができます。

定時退庁日の徹底について

毎週水曜日を全省庁、金曜日を厚生労働省独自の定時退庁日とし、各職員に定時退庁を呼びかけています。当然、定時退庁日以外にも勤務時間以内に業務を終了していれば、定時退庁することができます。

所属や部門によっては、時期的に業務が集中し、勤務時間内に業務が終わらない場合もあるため、超過勤務の伺いを提出して承認を受け、残業することもあります。

※定時退庁とは… 超過勤務（残業）をしないで、終業時刻後すぐに帰ること。

ワーク・ライフ・バランスがしっかりしている山形労働局は、働きやすく充実した職場環境です。

皆さんこんにちは。
山形労働局のイメージキャラクター「ヤッピー」です！

職場の皆さんはとても暖かく、わからないこともちゃんと聞ける、雰囲気の良い職場です♪

自分の身近な人を含め、たくさんの方の人生と関わりがある労働局の仕事は、皆さんもきっとやりがいを実感できると思います！！



人事係 溝越 彩か
(採用：平成31年度)

広報係ヤッピー
兼
人事係長 菅野 雄一
(採用：平成15年度)

人事係 木村 晃大
(採用：平成29年度)

山形労働局で皆さんと 一緒に働ける日を楽しみに待っています！





山形労働局ホームページ
QRコード

問い合わせ先

〒990-8567

山形市香澄町3-2-1 山交ビル3F

山形労働局総務部総務課人事係

担当：菅野・木村・溝越

TEL023-624-8221

